



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary International District 2800 2017-2018

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER vol.7

地区目標 美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

ガバナー一月信 第7号



インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生らによる
寒河江市内の清掃ボランティアの様子

CONTENTS

- ガバナーメッセージ
- 謹賀新年ごあいさつ
- 職業奉仕コーナー
青少年奉仕コーナー
- クラブ奉仕コーナー
第3ブロックIM報告
- 第46回ロータリー研究会報告
- 第2回諮問委員会報告
第1回地区チーム研修セミナー報告
- ガバナー公式訪問
- 天童東RC創立30周年記念植樹
やまぶきロード植樹プロジェクト
- 米沢上杉RC創立55周年記念式典報告
青少年交換学生月次報告
- 米山奨学生レター
米山奨学委員レポート
- ローターアクトのコーナー
インターアクトのコーナー
- 出席率
- 新入会員紹介／表彰関係
- 1月のスケジュール



国際ロータリー第2800地区
2017▶2018年度

◇ガバナー／鈴木一作
◇R.I.会長／イアン H.S. ライズリー
◇R.I.理事／斎藤直美、石黒慶一



親愛なる会長・幹事・ ロータリアンの皆様へ

2017-18年度 国際ロータリー第2800地区
ガバナー 鈴木 一作



RIテーマ ロータリー:変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)

地区目標 美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

◆新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。地区大会も無事に終わり、ガバナー公式訪問も残すところ4クラブです。しかし、ガバナー月信の編集発行はまだ半年続きますし、RI会長賞や上林年度に向けての支援、各種セミナー、RYLAなど、まだまだ気を抜けない事業が目白押しです。本年も、宜しくお願ひ申し上げます。

◆ロータリーとは？

さて、1月は「職業奉仕月間」です。イアン・ライズリーRI会長は、「ロータリーとは？」を自らに問いかけ、自らのロータリー観を省みることによって、明日からのロータリアンとしての活動を意義あるものにして欲しいと述べています。もちろん、100人いれば100通りのロータリー観があるでしょう。それでも、多少は表現が異なるものの、ロータリアンなら共通しているロータリー観が3つあります。それは、ロータリーは、「①ロータリアン同士の友情を基盤に、②価値ある奉仕をしている、③立派なロータリアンを育てている」の3つです。

◆「価値ある奉仕」の根幹は、職業奉仕である

我々ロータリアンは、一日の活動時間の大部分は仕事に従事しています。言い換えれば、「②価値ある奉仕」の大部分を職業奉仕に費やしているということです。すなわち、「自己の職業を通じて社会に奉仕(貢献)する」時間こそが我々の生活の大部分であり、しかも、それで家族や職員、関連業者なども含めて生活の糧を得ているのです。したがって、職業奉仕は最も重要な奉仕です。職業奉仕が充実していればこそ、他の「価値ある奉仕」も充実するのです。

◆ロータリーの根幹、金看板は、「ロータリーの目的」ではないか？

では、職業奉仕はロータリーの根幹、金看板と言ってもよいでしょうか？ 人それぞれ考え方は違うでしょうが、少なくとも「①ロータリアン同士の友情を基盤に」と「③立派なロータリアンを育てている」は、職業奉仕よりもクラブ運営そのものに比重がかかってくることは確かです。クラブの在り方、すなわち会長、幹事、クラブ奉仕をはじめとした各委員会、クラブ会員などの在り方も、ロータリーにとって重要だということです。実際、ロータリアンではない一般の職業人でも、「自己の職業を通じて社会に奉仕」しています。その中には、地域での社会奉仕、国際奉仕などもしている人だっているでしょう。だとすれば、①と③も満たしてこそロータリーです。そういう意味では、①②③を包含し、かつRI会長・ガバナー・クラブ・クラブ会員にとって共通の責務であり目標でもある「ロータリーの目的」こそ、ロータリーの根幹、金看板にふさわしいと、私は思っています。

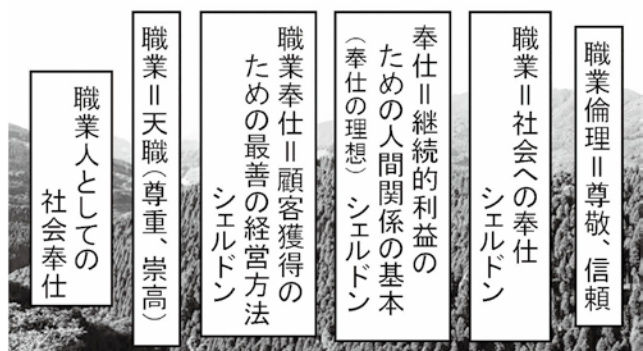
◆職業奉仕は、森である

さて、「職業奉仕は難しい」という言葉をよく耳にします。理由は色々あるでしょうが、大きな理由の一つは、ロータリー通の大先輩による職業奉仕の説明が、人によって異なるからではないでしょうか？ ある大先輩は、職業奉仕は「シェルドンの考えそのものだ」と言います。また、「職業倫理そのものだ」と言う人もいます。最近のRIは、「職業人としての社会奉仕も職業奉仕だ」と言っています。さらには、「道徳律(職業倫理訓)」や「大連宣言」を説く人、「四つのテスト」を説く人もいます。これでは、聞いている方が混乱するのも当然です。これらに共通する特徴は、「職業奉仕は一本の大木」であるかのような説明でしょう。

私は、ロータリーを多方面から学んできて、「職業奉仕は一本の大木ではなく、森である」と思うようになりました。森は、高い所、低い所、陽のあたる所、あたりにくい所など、場所によって生えている木々は違います。しかし、それら全体で森なのです。ですから、例えば高い所に生えている木だけを説明しても、その森の全てを語ったことにはなりません。

それと同じように、「職業奉仕に対する考え方は、歴史上、

職業奉仕の森



間違いなく幾つもある。すなわち、職業奉仕という森には、異なる様々な木々が生い茂っていて、また互いに影響し合っていて育っている。したがって、それらの木々全部を対象にして、はじめて職業奉仕を理解できる」と、私は思うのです。

では、「職業奉仕の森」にはどのような木々が生い茂っているのでしょうか？ 私は図に示したように、大きく分けると6つの木々群がある（そのうちの3つはArthur Frederick Sheldonの奉仕理論）と思います。以下、それらについて説明します。

◆ロータリーに、「奉仕 (Service)」という言葉が登場したのは1911年

「自己の職業を通じて社会に奉仕する」という考え方をロータリーに導入したのは、Arthur Frederick Sheldonです。1911年の全米ポートランド大会で、友人Chesley Reynolds Perry の協力により、A F Sheldonは彼の奉仕理論の象徴“*He profits most who serves best*”を結語とした「ロータリー宣言」の採択に成功します。すなわち、「奉仕 (Service)」という言葉が初めてロータリーの公式文書に使われたのです。もちろん彼は、それまでも機会ある毎に自分の「奉仕理論」を説明してきましたが、少なくともロータリーに正式に受け入れられたのは1911年です。

◆Arthur Frederick Sheldonの「奉仕理論」

A F Sheldonの奉仕理論の根幹は、「職業を通じて社会に奉仕したことで得られる『利益』と『事業の継続的発展』は、顧客奉仕に徹した事業経営によってもたらされる」というものです。その内容は、「経営学、販売学、人間関係学的な事業経営の理念と実践方法」であり、現代にも通じるものばかりです。

A F Sheldon の 奉仕理論	
●職業:	利益を得るための手段ではなく、 社会に奉仕するために存在する
●奉仕:	継続的な利益のための人間関係の基本 相手のニーズを最高に良く汲み取り、 それを最高の形で満たすようにすること
奉仕の理想	
●職業奉仕:	顧客獲得の最善の経営方法 顧客奉仕の実践で事業は成功する (結果的に職業倫理も向上する)

◆「ロータリー (クラブ) の目的」に、「奉仕 (Service)」が登場したのは1912年

ご存知のように、1905年、Paul Percy Harris らによってシカゴロータリークラブが創立しました。しかし、シカゴクラブの定款細則には「奉仕」という言葉はありません。5年後の1910年、全米16のロータリークラブがシカゴに結集し、全米ロータリークラブ連合会 (NARC) が結成されましたが、その際に採択された「ロータリークラブの目的 (この時点では、ロータリーの目的ではありません)」にも、「奉仕」という言葉はないのです。

1912年には、イギリス、カナダ、アイルランドなどが加入して、NARCは41クラブから成る国際ロータリークラブ連合会 (IARC) に改称されます。この時のダルス国際大会では、「IARCの目的」と「ロータリークラブの目的」とが別々に採択されました。

実は、後者の「ロータリークラブの目的」に、「奉仕」という言葉が使われているのです。すなわち、その第1項に「社会に奉仕する機会としての職業」とあり、A F Sheldon の考え方が活かされています。前年の1911年、全米ポートランド大会で前述の「ロータリー宣言」が採択されたことが、とても大きかったことを意味します。

◆「ロータリー (クラブ) の目的」に、現在の「職業倫理」が登場したのも1912年

さて、この1912年に採択された「ロータリークラブの目的」には、もう一つの注目すべき点があります。それは、現在の「ロータリーの目的の第2」の職業倫理に関する記載の原型が、既に記されていることです。すなわち、以下の3項目です。

- 全ての合法的職業は価値あるものであるという認識を深めること
- 会員各自の職業を高潔なものにすること
- 事業および専門職務の道徳的水準を高めるよう奨励すること

言うまでもなく、これらは「職業天職論」にも繋がる倫理観です。

◆「職業天職論」の反映とも言える職業倫理観は、イギリスの影響ではないか？

それにしても、1912年の「ロータリークラブの目的」は、1910年の最初の「ロータリークラブの目的」に比べると、あまりにも内容が違います。唐突と言ってもよいくらいの、格段の進歩です。なぜでしょう？ それは、A F Sheldon の影響だろうと考える人もいるかも知れません。もちろん多少の影響はあったかも知れませんが、あくまで彼の主眼は、職業を通じて社会に奉仕したことで得られる「利益」と「事業の継続的発展」です。そして、その手法が顧客奉仕の実践です。少なくとも職業を高潔なものにするという職業天職論的な発想は、A F Sheldonにはなかったのです。むしろ私は、ロータリーの歴史の流れから見て、この1912年にイギリスの加入したことが大きかったのではないかと考えています。すなわち、「職業は神聖な天職であり、道徳的で高潔なものであるべき」というイギリス流の考え方が、色濃く反映されたのではないかとと思うのです。

◆実は、ロータリー創立時から「職業倫理」の萌芽はあったのではないか？

1905年、シカゴロータリークラブの創立時、P P Harrisは「洋服はショレー君に、法律は私、石炭はシール君に頼むという、一人一業種で親睦を深める会にしたい」と述べたと伝えられています。この実業互惠と親睦こそが、ロータリーの原点です。通常、この実業互惠は「異なる職業であることを利用した物質的相互扶助」と理解されており、実際、当時のシカゴクラブ定款第2条の目的にも「本クラブ会員の事業上の利益の増大」が謳われています。しかし、「クラブ会員同士、友達になって金持ちになろう」という考えを、果たしてP P Harrisは持っていたのでしょうか？ 原価取引の原則など、会員を増やすために、そういう一面もあったことは否定しませんが、むしろ私はP P Harrisの言葉に職業倫理の萌芽を感じるのです。

当時の資料には、無秩序な自由競争のもと、誇大広告や虚偽広告がまかり通り、詐欺的な取引や不法な取引が横行し、金を儲けた者が成功者として扱われていた時代だったと記されています。そういう時代背景の中で、「ロータリアン同士の親睦と信頼の上に立って、互いを裏切らない取引をしよう」という考え（気持ち）は、至極当然のように思うのです。弁護士だったP P Harrisには、なおさらそういう思いが強かったのではないのでしょうか。

◆ロータリーの公式文書では、「職業倫理」は「奉仕 (Service)」よりも先である

1910年、シカゴでNARC設立時に採択された「ロータリークラブの目的」には、「進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること」が記されています。当初の草案では「会員相互の取引関係を増大すること」だったのですが、最終的には上記のように変更されました。要するにロータリーは、1910年に「金儲けよりも職業倫理へ」と正式に舵をきったということです。こうして、「進歩的で尊敬すべき商取引」、すなわち職業倫理を謳った公式文書が、ロータリーの歴史上、初めて採択されました。注目すべきは、「奉仕 (Service)」という言葉がロータリーの公式文書に初めて登場したのは1911年の「ロータリー宣言」ですから、それよりも前の出来事だったということです。

そして、この「進歩的で尊敬すべき商取引」を受けた形で、1912年に採択された「ロータリークラブの目的」に、前述した職業倫理3項目（現在の「ロータリーの目的の第2」の原型）が入ったのです。さらに、同年に採択された「IARCの目的」には、以下に示す「道德律（職業倫理訓）」への道筋が記されました。

◆「道德律（職業倫理訓）」への流れ

この1912年のダールズ国際大会で「ロータリークラブの目的」とは別に採択された「IARCの目的」も、ロータリーにおける職業奉仕を考える上で重要な意味があります。それには、「既存するロータリークラブの活動、および会員や地域社会に対するクラブの価値を研究し、それで得られた全てのクラブにとって有益な情報を明示すること」と記されているからです。これを受けて、翌1913年のバッファロー国際大会で、「事業上、適用すべき実践的な模範例を収集してまとめる」ことが決議されました。

こうして全世界のロータリアンからアンケートをとり、収集した数百もの事例を簡潔な表現にまとめたものが、1915年のサンフランシスコ国際大会で採択された「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」です。これは、心あるロータリアンの職業上の実践や倫理観をまとめた11箇条として、「道德律（職業倫理訓）」とも呼ばれています。第1条には「職業は社会に奉仕する絶好の機会」、第2条には「He profits most who serves best」を実証することとあり、第3条から11条にかけては、職業上の倫理基準とすべき具体的内容が記されています。すなわち、「道德律」は、「A F Sheldonの奉仕理論」と「職業倫理」の両方から成っているのです。

翌1916年、Guy Gundaker がロータリー最初の解説書「A Talking Knowledge of Rotary」を発行しました。これには、当時のロータリーの基本理念や活動の在り方とともに、「道德律」の全文も掲載されています。しかも、その冊子は世界中のロータリークラブに配布されたのです。まさに、第一次世界大戦（1914～1918年）の最中の出来事でした。

◆その後の「道德律（職業倫理訓）」

さて、1922年のロサンゼルス大会で、IARCは国際ロータリー（RI）に改称されました。その際、これまでの「IARCの目的」と「ロータリークラブの目的」は大幅改正されて一つにまとめられ、また、定款細則も大幅に改正されました。注目すべきは、そのRI細則の第16条に「1915年の道德律を以てロータリーの現行法則たるものと定める」とあることです。要するに、「道德律」は、全世界のロータリークラブに対して一つの規範としての効力を持つようになったのです。

一方、「道德律」に対しては、その内容の厳しさと表現が宗教的であるという理由から、P P Harrisをはじめ、当初から批判的なロータリアンも少なくありませんでした。結局、こうした声の広がりを受けて、RIは1927年に改定委員会を設置し、1931年には「道德律」の頒布・宣伝を禁止してしまいます。さらに1951年には、「道德律」の内容そのものがロータリーの公式文書から姿を消しました。但し、「道德律」という言葉だけはRI細則第16条に残されましたが、それも1980年の改正で抹消されています。現在では、「道德律」は歴史的文献として扱われ、RIの公式文書には掲載されていません。

1905年	シカゴロータリークラブ創立
1910年	全米ロータリークラブ連合会（NARC）設立 「ロータリークラブの目的」
1911年	「ロータリー宣言」
1912年	国際ロータリークラブ連合会（IARC）に改称 「ロータリークラブの目的」 「IARCの目的」
1915年	「道德律（職業倫理訓）」
1916年	「A Talking Knowledge of Rotary」
1922年	国際ロータリー（RI）に改称
1927年	四大奉仕の分割（職業奉仕の呼称と定義）
1987年	「職業奉仕に関する声明」
1989年	「ロータリアンの職業宣言」
2007年	標準ロータリークラブ定款「四大奉仕」を明記
2010年	標準ロータリークラブ定款「五大奉仕」を明記
2011年	「ロータリーの行動規範」
2014年	「ロータリーの行動規範」改定 「ロータリアンの行動規範」（上記の再改定）

◆ロータリーに、「職業奉仕」という言葉が登場したのは1927年

さて、1927年のオステンド国際大会では、「目標設定計画に基づく四大奉仕の分割」が採択されました。これによって、これまでロータリーの基本理念であった「一般奉仕概念」が、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の4つに分けられまし

た。実は、ロータリーの歴史上、ここで初めて「職業奉仕」という言葉が登場したのです。この時の職業奉仕の定義には、「ロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕すること」と「高い道徳的水準を保つこと」が明記されています。すなわち、「職業を通じて社会奉仕」と「職業倫理」の二つが、職業奉仕の定義として採用されたのです。

もう一つ、留意すべきことがあります。それは、「職業奉仕 (Vocational Service)」のVocationは、天職という意味合いが強い言葉だということです。Business (事業) や Profession (専門職務) を包含した従来の (いや、本来の) Occupation (職業) ではなく、敢えてVocationが使われたのは、職業に宗教的色彩を含めることを嫌っていたA F Sheldon にとっては不本意だったようです。また、それまでロータリーの基本理念の中心にあったA F Sheldonの奉仕理論が、職業奉仕だけに閉じ込められたことを失望したとも言われています。英国人のSheldon嫌い、P P Harrisとの対立など、諸説はありますが、いずれにしても失意のA F Sheldonは、1930年にシカゴクラブを退会し、1935年に67歳でこの世を去りました。

◆「職業奉仕に関する声明」は、職業奉仕の大転換だった

前述した「道徳律」の衰退につれて、実は、職業奉仕そのものも徐々に冷遇されていきました。R Iは、1948年に職業奉仕委員会を廃止し、1963年の「職業分類の概要」の発行を最後に職業分類への関与からも手を引いてしまい、R Iのプログラムから職業奉仕は消えてしまったのです。

ところが1987年、R Iに職業奉仕委員会が約40年ぶりに復活し、あらたに「職業奉仕に関する声明」が出されました。内容は職業倫理を重視したのですが、次の二つの点で、ロータリーにおける職業奉仕の歴史上、大きな転換点とされています。一つは、クラブにおける職業奉仕の具体的な活動指針を示し、かつ奨励したこと。これは、「クラブ自体も職業奉仕 (事業) をすること」を意味します。もう一つは、「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること」という記載です。これは、「職業人としての社会奉仕は (職業上の知識や技術を活かす点で) “職業奉仕”である」という意味です。なお、私としては、「職業を通じて社会に奉仕する」という記載がなかったことも気になります。

◆「ロータリアンの職業宣言」と「道徳律 (職業倫理訓)」との違い

2年後の1989年、規定審議会で「ロータリアンの職業宣言」(8箇条) が採択されました。これは、前述した「道徳律」の欠点 (内容の厳しさと宗教的色彩) を修正したものとされています。しかし、「道徳律」と比べると、第1条には「職業は奉仕の一つの機会」とありますが、「He profits most who serves best」の記載はありません。留意すべきは、職業上の倫理基準とすべき具体的内容の他に、「自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ」という記載があることです。「職業人としての社会奉仕」の1つとして、R Iが「自己の職業を活かした青少年への奉仕」を特に奨励し始めたのは、この時からです。

◆「ロータリアンの職業宣言」から「ロータリアンの行動規範」までの改編・縮小

1989年の「ロータリアンの職業宣言」(8箇条) は、2011年のR I理事会で「ロータリーの行動規範」(8箇条) に改編され、2014年にも改編・縮小 (5箇条) されました。さらに同年に「ロータリアンの行動規範」(4箇条) と呼称が変わり、第5条にあった「事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない」が削除されてしまいました。これは、ロータリアン同士の物質的・金銭的な相互扶助を奨励し、R Iによる会員特典プログラムの活用を推奨できるようにすることが目的です (もちろん、私には不本意です)。

「ロータリアンの職業宣言」から「ロータリーの行動規範」、そして「ロータリアンの行動規範」へと改編・縮小が続きましたが、どれも職業倫理を重視しつつ、職業人としての社会奉仕 (特に青少年への奉仕) を奨励した内容です。但し、1989年の「ロータリアンの職業宣言」にあった「職業は奉仕の一つの機会」という記載は、2011年からはありません。

◆現在の「職業奉仕」の定義は、標準ロータリークラブ定款「第6条」

さて、1927年のオステンド国際大会で採択された「職業奉仕の定義」は、2007年の規定審議会によって標準ロータリークラブ定款上の「四大奉仕」という形に変更され、2010年には「五大奉仕」に修正されました。どちらも「ロータリーの目的」の第2に準じた内容であり、職業倫理を謳った上で、奉仕の理想 (理念) を目的とするものと記されています。その定義で留意したいのは、①1927年に採択された「職業奉仕の定義」にあった「職業を通じて社会奉仕」という表現がなくなっていること、②「職業人としての社会奉仕」という内容は含まれていなかったことの2つです。ちなみに、①については、「A F Sheldonの奉仕理論」の冷遇・排除は最近のR Iの傾向だと認識しています。一方、②については、案の定、2016年に「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えること」が追加されました (標準ロータリークラブ定款「第6条」)。

◆職業奉仕の森

以上、職業奉仕の歴史を概観してきました。職業奉仕は決して1本の大木として説明できるものではないことが、恐らくご理解いただけたものと思います。「職業倫理」、「A F Sheldonの奉仕理論3つ」、「職業天職論」、「職業人としての社会奉仕」は、互いに影響し合い、あるいは多少は重複し合い、さらには変遷しながらも、それぞれが独立した「職業奉仕の要素」なのです。もちろん、どれが正しい職業奉仕で、どれが間違った職業奉仕だなどという議論は不毛です。それらに、順位や優劣をつけることにも意義を感じません。むしろ我々ロータリアンは、それぞれを日々の活動の中で大いに実践しようではありませんか。なぜなら、どれもが職業に関連した価値あるものばかりですし、どれもが「職業奉仕の森」の中で生い茂っている木々群なのですから。



直前ガバナー
長谷川 憲治
(山形)

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、穏やかな新年を迎えられたことと存じます。とりわけ、ロータリー研究会を成功裏に終了された石黒RI理事と、かつてないほどアカデミックな地区大会を終えられた鈴木ガバナーは、一際爽やかなお正月をお迎えのことと拝察しております。石黒RI理事はあと1年半、鈴木ガバナーはあと半年でございますし、上林年度への準備も始まっております。皆様のより一層のご活躍をお祈り申し上げますとともに、今年が第2800地区にとって素晴らしい年となりますよう願っております。



パストガバナー
遠藤 栄次郎
(山形西)

あけましておめでとうございます。11月初め、鈴木一作ガバナーによる寒河江RC主管の地区大会において、RI会長代理Dean.L.Jackson氏の流暢な日本語によって語られたロータリーの心に、皆さんも感銘を受けられたことと存じます。また、11月下旬には石黒慶一RI理事主催によるロータリー研究会が盛大に、そして無事に終了することができましたこと、誠に御苦労様でした。ロータリーも変化していますが、基本理念は変わらないものと思って追従しております。今年も宜しく願い致します。



パストガバナー
安孫子 貞夫
(寒河江)

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃、ロータリーを通じて格別のご厚誼をいただき、感謝申し上げます。近年、戦略計画が提唱され、「クラブの刷新性と柔軟性を育てる」と打ち出し、大幅に改変が進行しています。社会の変化に伴い、そのニーズに対応する変革は至極当然なことです。しかし、クラブ目的の本質である「会員の精神的向上」に関する指導が疎かにされている傾向にあります。クラブの目的を明確に認識し、活動の主体はクラブ自身にあることを自覚することが肝要です。皆様にとって、ロータリーが価値あるものになることをご祈念申し上げます。



パストガバナー
渡部 保太郎
(長井)

自然治癒力を高め、いきいき元気な毎日を!! ロータリーは何時も新しい自分を作ってくれる!! 近年、自分の健康は自分で守るという「セルフメディケーション」の考え方が広がっています。事業を人体に例えて、傾きかけた健康のバランスを元の健康な状態に戻し、私達の身体に本来備わっている基礎体力や免疫力等の「自然治癒力」を高めてくれたのは、ロータリーの基本でした。こうした「セルフメディケーション」の実践には、是非ロータリーを役立てていただきたいと思います。効き目は自然で、じっくりと働きかけ、体質から改善してくれるロータリーです。新しい自分ができたら、次は「超我の奉仕」。思いやりの心で、奉仕に励みましょう。人も物も、宝物が一杯入ってきますよ!!



パストガバナー
藤川 享胤
(鶴岡)

ロータリアンの皆様、新年明けましておめでとうございます。恙無く初春をお迎えのことと存じます。私が敬愛して止まないロータリアンに、職業奉仕論を語らせれば右に出るお方はいないとまで言われた2580地区佐藤千寿PDGがおられます。千寿先生がガバナーをお務めの時のRI会長は、「ロータリーの精神を奮い起こせ」というテーマを示されたウィリアム・ロビンズであります。彼は、「ロータリーは成人教育の最も優れた実験場であり、ロータリーの第一の目的は親睦と奉仕を通して人材を育てることにある。クラブの価値は、そのクラブがいかなる人材を育てたかによって計られる。それ以外、何を望むべきであろうか」という名言を残されました。「ロータリーは人づくりの最高の場である」。今年度も、この箴言を座右の銘として皆様と交友してまいりたいと存じます。



パストガバナー
伊藤 巳規男
(大江)

新年、あけましておめでとうございます。「美しい心、ロータリアンの矜持」のもと、原点である職業奉仕を通じて日々の奉仕活動に、また地域の発展と明るく住みよい社会づくりに貢献しているのが、我が大江ロータリークラブです。各クラブも同様の活動を行っていると思存しますが、人材不足が活動資金や奉仕事業に響いているのが昨今の悩みかと思存します。ロータリー活動を地域の皆様に理解していただき、一人でも多くの仲間を増やすべく精進しなければならない時期だと思存します。世界情勢を見ても、不安定な世の中ではございますが、頑張っていきたいと思います。本年も宜しく願い申し上げます。会員皆様にとって良い年でありますよう、お祈りいたします。



パストガバナー
野々村 政昭
(山形)

新年あけましておめでとうございます。1905年にロータリーが誕生し、日本でも2020年には100年目を迎えます。この間、RIも日本のロータリーも歴史と共に様変わりしているようです。本年度は、石黒慶一PGのRI理事ご就任は、地区にとっても初めてのことであり、大変な栄誉でもあります。また、鈴木Gは「美しい心、ロータリアンの矜持」のテーマのもと、地区大会、ハードなスケジュールの中の公式訪問等を通して、RI会長賞を目指してのクラブ活性化に積極的に取り組んでおられます。ロータリーに新たな変化が芽生えるでしょう。石黒RI理事、鈴木一作Gの今後のご活躍、半年後の上林直樹GEにご期待申し上げます。



パストガバナー
石黒 慶一
(鶴岡西)

新年明けましておめでとうございます。昨年から図らずも国際ロータリー理事という重責を担うことになり、RI2800地区の皆様には多大なご支援をいただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。昨年末は、韓国、台湾でのロータリー研究会に出席しましたが、外国ロータリアンの奉仕活動にける情熱に新たな感動を肌で感じてきました。当地区も自分の殻に閉じこもらないTake Actionが今年は求められると思存します。本年もよろしくご指導・ご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



パストガバナー
大友 恒則
(米沢中央)

新年明けましておめでとうございます。会員諸兄におかれましては、お元気で新年を迎えられたことと思存します。第2800地区は50クラブを数えますが、会員数は小が10名から大が120名まで、さらに創設は25~65年ほどで、それぞれが個性を有しております。これまで当地区では、ロータリークラブ活動の中心は事業奉仕として運営されてきたように思存します。しかし、多様なクラブ、多様な会員を有する今日、もう一度、クラブ運営の原点に立ち返り、「クラブ奉仕」について整理する必要があるでしょう。それだけに、会員相互の信頼とロータリーに対する理解の共有が大切と感じます。会員諸兄のさらなる成長を大切にしていきたいと思存します。



パストガバナー
武田 和夫
(山形南)

あけましておめでとうございます。平成という年号を使えるのも、今年が最後のようです。ロータリーは、P・ハリスが親睦・友愛・寛容をクラブの基本として作り、100年以上続いて社会奉仕と国際奉仕が肥大化し、寄付を集めて低開発国への慈善団体へと変化したのではという感じです。ここでBACK TO BASICS と原点に還り、クラブ会員個人の品性を高め、個々のロータリアンが己の職業を通して社会に奉仕するという理念を再確認しましょう。



パストガバナー
佐藤 豊彦
(天童)

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかな新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。私は、クラブの活性化は会員増強にあると思っています。今年は会員増強に力をそそぎ、ロータリーのクラブ活性化を図っていただきたいと思います。会員は「1業種1会員」一、これがロータリーの基本であり、絶対条件でした。今は、柔軟性、多様化の言葉の元に、ロータリーは変わってきています。しかし、変えてならないものは、変えてはいけません。クラブは、自分たちのクラブであります。ロータリーの素晴らしさを皆で育てていく1年になることをご祈念申し上げます。



パストガバナー
細谷 伸夫
(山形西)

明けましておめでとうございます。2018年は、ロータリーにとってどんな年になるのでしょうか。吉と出るか凶と出るかは、ロータリアンの双肩にかかっています。現代社会は分断されています。分断は、各層への思いやりの欠如によるものです。各層の実情、悩みを知り、理解し、自己が少しでもその者のために一歩譲れるならば、そこには調和がもたらされるのです。今こそ思いやりを心に抱き、行動すべき時だと思えます。今年も明るく楽しく、手に手をつなぎ、邁進しましょう。



パストガバナー
和田 廣
(南陽東)

新年、あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、各クラブの皆さんにおかれましては、クラブ発展のために新たな決意をされておられることとご推察申し上げます。ロータリーの方向性もだいたい変わろうとしているように感じておりますが、これから7~8年もすると大きく変わっていくような予感がいたします。各クラブにおきましては、この変化に対応すべく、会員同士が十分な協議を続け、クラブの発展に繋がるように方向性を見いだしていく必要があると感じています。各クラブのご発展を心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



パストガバナー
新関 彌一郎
(天童東)

明けましておめでとうございます。3年任期の財団委員長を長谷川年度でお引き受けし、2年が過ぎようとしています。その間、地区内のクラブ会長やガバナーの絶大な協力を得まして、寄付が前年比130%と良い結果をいただき、感謝申し上げます。地区内の「年次寄付0クラブ」は既に0ですが、日本全体では昨年度ようやく0になりました。ロータリー研究会では、RI財団監理委員長が「世界を見渡し、驚嘆に値する」と発言していました。これも当地区各クラブの会長や財団担当者、そして全会員の奉仕意識が高い証と感じます。鈴木年度も、これまで同様のご理解をお願いし、新年のご挨拶といたします。



パストガバナー
池田 徳博
(鶴岡西)

明けましておめでとうございます。鈴木年度も半年が過ぎ、いよいよ仕上げの段階です。鈴木ガバナーの「美しい心、ロータリアンの矜持 ~修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動~」の地区目標がどのくらい皆様の心に浸透したか、それぞれが自己チェックしてみてください。少しでも、ひとつでも実践されていれば、大きな一歩です。また、昨年11月には、石黒RI理事のもと、東京でロータリー研究会が開催されました。RI会長とR財団管理委員長のご出席をいただき、「ロータリー:変化をもたらす」のテーマのもと、熱心な討議、意見交換が行われました。2800地区からの熱いご支援に対し、心から感謝申し上げます。あと半年、鈴木年度が輝かしい成果をあげられますよう祈念致します。



パストガバナー
酒井 彰
(米沢上杉)

皆様、新年明けましておめでとうございます。「鈴木一作」丸も順調で素晴らしい航海を続けられ、大変頼もしく思っております。さて、「おめでとうございます」ですが、普通は誰かが良いことがあった時、その相手に対して一方通行であります。しかし、新年に言う「おめでとう」は双方向であると聞いたことがあります。お正月は、私達を見守って下さいます年神様をお迎えし、全ての物が新しく始まる節目であります。ロータリアンの皆様も、互いに双方向でますます友情を深められますことをお祈り申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。



ガバナーエレクト
上林 直樹
(酒田中央)

新年、明けましておめでとうございます。皆様にとって、素晴らしい一年であることをお祈り致します。さて、今年7月から第2800地区ガバナーの重責を担うことになりました。宜しく願い致します。私の基本理念は、「ロータリーの原点に戻ろう」です。奥様はもとより、従業員の方々、そして地域の皆様がロータリークラブを理解しているか？ 私はほとんどの人々が理解していないと思います。もう一度基本に戻り、「ロータリーは奉仕する心と人を育てる世界的な団体」であることを理解していただけるよう、活動を進めていきたいと考えています。



ガバナーノミニ
大久保 章宏
(山形南)

新年あけましておめでとうございます。穏やかな年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い致します。昨年、ガバナーノミニを拝命し、地区米山奨学・学友委員長と二つの役職を兼務させていただきました。もちろん、年度末までしっかりと米山奨学・学友委員長の職も全う致します。浅学菲才の私ではありますが、ガバナー年度を見据え、2800地区の会員の皆様方のために全力で努力し精進していきたいと考えております。温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

職業奉仕コーナー



職業奉仕委員会 委員長
藤野 和男 (大江RC)

クラブにおける職業奉仕事業

クラブでの職業奉仕事業の実践例として、①中高校生への職業講話、②高校生への就職模擬面接指導、③中学生へのインターンシップ受け入れ等があげられます。大江RCでは、地元の県立左沢高校で、職業奉仕委員会の年間事業として①②③を実践しています。

①7月の職業講話では、2名のクラブ会員が左沢高1年生の全生徒へ、各々の経験に基づく「職業人としての心構え」について分かり易く話しをしています。100名の生徒は真剣にメモをとりながら話を聞いてくれますが、「今は分からなくても、必ず今日の話が分かる時が来る、役立つ時が来る」と、そんな思いで話をしています。

②8月の左沢高3年生への就職模擬面接指導では、会員10名が2人1組の5組に分かれ、それぞれ10人程度の生徒に対し、礼儀や挨拶、質問に対する答え方、予測される質問の傾向などについて指導します。生徒の大部分は、緊張した表情で受け答えをしてくれます。「希望企業へ全員合格の一助となれば」と願いながら、毎年実施しています。

③9月には、会員企業にお願いして、左沢高2年生のインターンシップの受け入れを実施しています。実際の企業での仕事体験を通して、将来に活かしてもらえればと思います。



地区大会を振り返る

今年度の地区大会は、「美しい心、ロータリアンの矜持」というテーマに貫かれた、極めてメッセージ性の強い内容でした。会場の誰もが共感し、感動し、ロータリアンとして自らの生き方を振り返ったのではないのでしょうか。

美しい心とは何でしょう。私は、「純真な心、正しく生きたいと思ふ心」だと思います。それは、職業奉仕にも通じる心であり、2月のPETSで「粗にして野だが、卑ではない」と明言した鈴木一作がバナーの心意気にも通じるものでしょう。

逆に、当日は休会と分かっているクラブ例会会場へ行ってメイクカードだけ貰って帰ってきたり、クラブ理事会をメイク扱いにしたりするのは、美しいことではありません。陰口を言ったり、嫉妬したりするのは、まさに卑しい人間です。ロータリアンに、そんな人がいてはなりません。自己の言動を振り返り、「それでこそロータリー」と自分自身を誇る人こそ真のロータリアンであり、ロータリアンの矜持そのものではないのでしょうか。

そんなことを考えさせられた、素晴らしい地区大会でした。

青少年奉仕コーナー



青少年奉仕委員会 委員長
遠藤 伸一 (寒河江RC)

～想いは伝わる～

11月12日(日)の地区大会2日目、早朝清掃奉仕作業を行いました。青少年奉仕の4つの小委員会が主体になり、インターアクトと引率の先生、ローターアクト、青少年交換学生など総勢100名余りで、寒河江市役所から寒河江市民文化会館までの歩道、さらに文化会館周辺の道路と公園で、ゴミや落ち葉を拾い集めました。遠くは置賜や庄内を朝6時前に出発、会場には7時半集合という強行スケジュールであったにもかかわらず、高校生達は元気に作業してくれました。引率の先生方にはご苦労をおかけしましたが、彼らの生き生きとした姿を見て喜んでくださったと思います。

この奉仕作業は、単なるパフォーマンスとして計画したものではありません。県内外から1000人を超えるロータリアンが一堂に集まる地区大会で、日頃からロータリーの青少年プログラムに関わり、様々な奉仕活動を行っている若者達の力と元気を、1人でも多くのロータリアンに感じてもらいたいという想いで実施したのです。拾い集めたゴミと落ち葉は、用意した70枚のボランティア袋では納まりきれないほどの量でした。気づいた時には、会場に集まった多くのロータリアンも清掃作業に加わっていました。ガバナーご夫妻も、RI会長代理ご夫妻もです。実は、この光景こそが私達の想い描いたものです。次代を担う青少年の「元気、明るさ、頑張り、真摯な思い」に、心動かされないロータリアンなどいるはずがありません。本号の表紙の写真も、もう一度ご覧ください。

後日談ですが、多くの方から「素晴らしい取り組みだった、今まで何故やらなかったのか、毎年恒例にしたなら」など、共感と賛辞の声をいただき、我ら一同ありがたく思っております。これを機会に、ぜひ青少年プログラムに今まで以上のご支援、ご協力、そしてご参加をお願いします。それこそが、我々にとって最高の共感と賛辞なのです。

RYLA 開催のご案内

と き / 6月2日(土)・3日(日)〔1泊2日〕

と ころ / 旧 田代小学校 (寒河江市田代)

対 象 / 18歳～30歳

研修目的 / 次世代を担うリーダー育成

募集メ切 / 4月16日(月)

お問合せ / ガバナー事務所 TEL.0237-85-1882

※各クラブより最低2名の推薦をお願いします

クラブ奉仕コーナー



クラブ奉仕委員会 委員長
高橋 敏行 (南陽RC)

地区大会が無事に終了しました。RI会長代理D. L. ジャクソン氏と鈴木一作ガバナーとのセッションは、迫力と説得力に溢れておりました。皆さんも熱い感動を抱きながら、帰途についたのではないのでしょうか。

地区大会を終えて、クラブの皆様は高い山を越えたと安堵していませんか？ でも、まだまだです。年間の上四半期をわずかに経過したばかりで、私達がしなければならないことは山積しているはずで、年度当初、クラブ計画書等に示した奉仕プロジェクトの一つひとつ実践することが、私たちの約束なのです。各クラブの奮闘を期待いたします。

RI会長賞を目指して…クラブ奉仕委員会の出番です

鈴木ガバナーは、今年度の大きな目標の一つにRI会長賞を地区内50クラブ全てで獲得することを掲げております。旗振り役はクラブ会長と幹事さんであることは当然ですが、三番目の旗振り役として、クラブ運営を一括して見渡すクラブ奉仕委員会こそが出番です。

- 1 クラブのサポートと強化
- 2 人道的奉仕の重点化と増加
- 3 ロータリー公共イメージと認知度の向上

- RI会長賞の上記3分野の内容をもう一度チェックしてください。
- チェックした内容を、担当すべき委員会に配分してください。配分されたチェック項目は、他の委員会と重複する場合があります。各委員会はそれぞれの連絡を密にしてください。
- 達成できた項目は、例会時、会長さんが必ず発表してください。一つでも、二つでも発表して、会員全員で達成感を共有しましょう。
- 月信11月号3ページ「ガバナーの想い」を参考に、達成内容をRIへ報告・登録してください。

各クラブでアプローチの仕方は異なるでしょうが、想い一つにして行動を共にすれば、念願の50クラブ全てがRI会長賞を獲得できると思います。それと同時に、クラブ奉仕委員会に求められている『本クラブの機能を充実させるために』という大きな目的を果たすことにもなるのです。最後にもう一度、“RI会長賞をとり、クラブ活性化を図りましょう！”

第3ブロックIM報告



3ブロックガバナー補佐
東海林 松男 (天童西RC)

11月26日(日)、「親睦を深め、奉仕の理想を実践しよう」のテーマのもと、天童西RCをホストクラブとして、第3ブロックIMが開催されました。最初に佐藤豊彦PGから「会員増強と会員維持」というテーマで基調講演をいただき、その後、「会員増強の意義」というテーマでパネルディスカッションを行いました。パネラーは、第3ブロック内の5クラブ(天童・東根中央・村山ローズ・尾花沢・新庄あじさい)の会長、会員増強委員で、コーディネーターは、大山AGが務めました。

各クラブの会員増強の取り組み、女性会員の勧誘の仕方、女性会員の入会でクラブの雰囲気はどう変わったかなど、参考になる意見がたくさん出されました。まとめとして、

「**会員増強**」とは「**組織強化**」である。

- 「**会員増強**」を会員数の増加としてのみ捉えるのではなく、クラブ強化の問題として考えることが重要。そういう共通認識が得られれば、それは自クラブの成長・発展の基盤であることが理解される。
- 「**会員増強**」には、クラブの強化・充実を図るための具体的行動がクラブ会員一人ひとりに必要となる。それは、ロータリーの魅力再生とクラブ活性化のための実践そのものである。

「**会員増強**」という言葉には、**次の3つの意味が込められている。**

- クラブ組織の強化
- 会員一人ひとりの資質・能力の開発
- 活動の結果としての会員数の増大

「**会員増強**」は、会員増強委員会に任せておけば済む問題ではなく、クラブ全体で、しかも年度を超えて継続的・長期的に取り組むべきクラブの最重要課題です。鈴木一作ガバナーが各クラブにRI会長賞をとるようお願いしているのも、クラブの活性化に繋がるからです。それだけに、クラブ活性化のための「**会員増強**」の実践、即ち、魅力あるクラブづくりに向けての「**クラブ改革**」の動きが一層進展することを心から願いつつ、パネルディスカッションを終えました。

引き続き行われた大懇親会では会員同士が親睦を深め合い、「**会員増強**」と「**クラブ活性化**」を誓い合う中で、第3ブロックIMが終了いたしました。



第46回ロータリー研究会報告



ロータリー研究会報告

第46回ロータリー研究会 実行委員長
パストガバナー

池田 徳博 (鶴岡西RC)

第46回ロータリー研究会が、11月20日から23日の4日間、東京お台場のグランドニッコー東京・台場で開催されました。20日は財団地域セミナー、21日はロータリー財団メジャードナーの午餐会とRI会長ご夫妻・TRF管理委員長の歓迎晩餐会で、正式には22日がロータリー研究会の第1日目、23日が第2日目です。

ロータリー研究会は、招集者は通常1名以上の理事または直前理事で、対象者は元・現・次期RI役員（PG・G・GE）およびゲストです。登録料や寄付、協賛金によって、独立採算制で実施されます。

目的は、①RIの現・元役員に、RIと財団の方針やプログラムに関する正確な情報を知らせること、②それらの方針やプログラムに対する支援を推進すると同時に、改善点や新基軸に関する提案を募ること、③ゾーンレベルで成功を収めたプログラムの進展についてRI理事会に報告し、理事会がこれをさらに発展させるための検討ができるようにすること、④ガバナーが指導力を発揮するように励まし、意欲を高め、情報を伝えること、⑤参加者会員の間に親睦とチーム精神を培うため、学び、討論し、意欲を高める集会の場を提供することの5つです。

今回は601名の参加者で、「ロータリー：変化をもたらす」のRIテーマのもと、活発な討議がなされました。詳しい内容についてはDVDにまとめ、2月頃に参加者へ配布する予定ですが、今回は概略をお伝えいたします。

イアン・ライズリー会長からは、グローバルな奉仕活動への意欲的な参加を求める基調講演が行われました。ポールネツェルTRF管理委員長からは、グローバル補助金の持続的かつ有効的な用途の開発と取り組みを求める講話がなされました。そして、斎藤RI理事、石黒RI理事による研究会理念「日本の心をどう世界に発信するか」のもと、①「日本のロータリー100年を迎えてもう少し

の努力」というテーマで、ポリオ撲滅、財団寄付ゼロクラブ・ゼロの継続、平和フェロー・米山奨学の育成について討議され、②「日本の元気なクラブ」というテーマで、ロータリークラブの多様化と質的増強について語られ、③「変化をもたらす日本のロータリーの将来ヴィジョン」というテーマで、クラブ運営の多様化の問題、青少年育成にどう立ち向かうか、さらに職業奉仕概念の世界と日本の違いについて、話し合われました。

また、「脱・優等生」が日本の未来を切り拓いてゆくとのテーマで、慶応義塾大学先端生命科学研究所所長の冨田勝氏による記念講演も行われました。

さらに、RI会長ご夫妻・TRF管理委員長の歓迎晩餐会、希望晩餐会、多種アトラクションなど、大いなる親睦も十分に深め合ったロータリー研究会だったと自負しております。次年度は、三木RI理事エレクトのもと、神戸で開催されます。

最後に、ご協力をいただいた神奈川湘南RC、2750地区、2800地区、鶴岡西RCの皆様、そして鈴木一作ガバナーに対し、心から感謝申し上げます。



第2回諮問委員会報告



2017-18年度 地区幹事
奥山 吉一 (寒河江RC)

12月9日(土)、酒田ル・ポットフーにおいて今年度第2回の諮問委員会が開催されました。石黒RI理事をはじめ9名のパストガバナー、上林GE、大久保GNのほか池田次期地区幹事、高橋次期資金委員長にもご出席いただき、事務局スタッフを合わせ22名の参加となりました。

鈴木一作ガバナーより11月11・12日に行われた地区大会の報告とご協力に対する感謝の言葉があり、その後、以下の内容についてご協議いただきました。

1. 8月 第1回諮問委員会の議事録確認の件(了解)
2. 12月3日 歴代地区幹事・資金委員長会議の報告の件(協議の上、了解)
 - ①地区外出張に伴う旅費・宿泊費支給の追加規定の件
 - ②青少年スプリング合同キャンプ(宮城・岩手、山形、福島)の3年に1回の当番のための積立金30万円の件
 - ③青少年交換派遣候補学生、受け入れ学生の研修・セミナー等費用徴収の件
 - ④ローターアクト予算の件
3. 11月 ロータリー研究会、ガバナー会の報告の件
 - ①公益財団法人 米山梅吉記念館の寄付の件(今後検討)
 - ②ロータリー財団委員会の小委員会設置の件(今後検討)
 - ・ポリオプラス小委員会
 - ・平和フェロシップ小委員会
 - ③ポリオプラスとロータリー平和センターへのDDF寄贈の件(協議の上、了解)
4. 2017-2018年度 地区大会決算報告の件(協議の上、了解)
5. 2017-2018年度 地区資金予算中間報告の件(協議の上、了解)
6. 2018-2019年度 ガバナーノミニの件(手続き開始を了解)
7. 2018-2019年度 地区組織図と地区運営の件(協議の上、了解)
8. 2018-2019年度 ガバナー事務所予算の件(協議の上、了解)
9. 各クラブにおけるRI会長賞の進捗状況(報告のみ)

第1回地区チーム研修セミナー報告



次年度地区幹事
池田 健一 (酒田中央RC)

12月9日、酒田市のル・ポットフーを会場として午後1時30分より「第1回地区チーム研修セミナー」が開催されました。鈴木一作ガバナーの開会点鐘、挨拶に始まり、上林直樹ガバナーエレクトより次期地区役員・委員長の紹介の後に、長谷川憲治次期研修リーダーによる本セミナーの開催趣旨の説明がありました。

その後、上林直樹ガバナーエレクトより次年度の方針・目標が発表されました。

- ①基本理念
ロータリーの原点に戻ろう(BACK TO BASICS)
- ②基本方針 パフォーマー(表現活動者)になろう
- ③RI会長テーマ(未定)
- ④地区運営方針

以上を上林ガバナーエレクトから、体験談等を織りまぜた具体的なお話がありました。

今後の活動計画では、ホストクラブを務めます酒田中央ロータリークラブの各実行委員長より詳しい内容の発表がありました。研修セミナーが、当初の予定より早く終了したため「上林直樹ガバナーエレクトご夫妻国際協議会出発歓送会」を30分繰り上げて、午後5時30分より同会場で開催致しました。

御来賓として丸山至酒田市長(急用で欠席、お祝いの言葉を司会者代読)、高橋幸雄酒田商工会議所副会頭(酒田中央ロータリークラブ・チャーターメンバー)をお迎えし、パストガバナーの方々や次年度地区役員、委員長、第1ブロック・酒田中央ロータリークラブの会員の多数の参加を頂き80名のご出席となりました。

鈴木一作ガバナー、長谷川憲治直前ガバナーからはご夫妻にそれぞれ温かな激励の言葉を頂き、高橋幸雄酒田商工会議所副会頭のご発声による乾杯で祝宴が始まりました。上林ガバナーエレクトご夫妻が国際協議会で有意義な研修を受けられ、元気に帰国され、皆様のご期待に応えご活躍することを楽しみにしています。

ご参加頂きました皆様、お手伝い頂きました酒田中央ロータリークラブ会員の皆様に感謝を申し上げ、ご報告といたします。



鶴岡RCを語る

来訪日：2017年9月19日(火)
越智 茂昭



我がクラブは、伝統を大切にしています。鶴岡市は米国のニューブランズウィック市(米国)と姉妹都市ですが、実は、当クラブの大先輩がとりもって姉妹都市となったのです。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、昨年、鶴岡市はモルドバ共和国のホストタウンとして認定されました。これも、現会員の尽力によるものです。国際的な見地で地元へ貢献する一、この伝統は今も大切にされています。

また、鶴岡RCは、特に青少年の育成に力を入れています。現在、鶴岡ローターアクトクラブの提唱クラブ、鶴岡東高等学校インターアクトクラブのスポンサークラブです。そして、青少年交換の派遣と受け入れ、米山奨学生のカウンセラー、国際ロータリーや米山記念奨学会の奉仕活動にも直接関わっています。それ以外にも、鶴岡田川地区小中高児童生徒考案創作展や鶴岡地区中学・高校英語弁論大会などの後援をし、鶴岡ロータリークラブ会長賞を授与しています。私ども団塊の世代は今時の若い者と言われて育ってきましたが、今時の若い者はどうしてどうして、皆さん素晴らしい青少年であり、彼らに関われることはロータリアンとして実に誇りに思います。

さて、鶴岡RCは来年で還暦を迎え、2800地区では古い方のクラブです。メイクに来られる方のご挨拶も、「伝統ある貴クラブに…」という枕詞で始まります。実は、私の職業分類は「自衛隊(海上)」です。海上自衛隊は「伝統墨守」と揶揄されてきただけに、私にとって「伝統」は聞き慣れた言葉でした。伝統は、先達が大変な思いをしながら築き上げ、今日に至ったものです。伝統は守るものと言う方もおられますが、海上自衛隊では、「伝統は守るものではなく、創るもの」と教わってきました。もちろん守らなければならない伝統もありますが、時代が変化していく中、伝統だからと変化しなければ時代に取残されます。鶴岡RCは確かに伝統あるクラブですが、さらなる変貌、飛躍も期待してください。

最後になりますが、ロータリーには職業奉仕というものがあります。ロータリアンにとって一番難解な奉仕ですが、ロータリーがなんであるか、なぜ職業奉仕が大切かを常日頃から身近で聞けるのも、鶴岡RCならではの思っています。



鶴岡東RCを語る

来訪日：2017年9月20日(水)
幹事：佐藤 徹志

創立30周年の節目を迎え、10月に記念式典と祝賀会を開催いたしました。石黒慶一RI理事、鈴木一作ガバナーをはじめ、多数のご来賓にご出席いただきました。これも歴代PG、親クラブの皆様をはじめ、たくさんの方々のご指導をいただき、おかげさまで迎えられた30周年です。あらためて会員一同、深く感謝申し上げます。実は、9月20日のガバナー公式訪問では、大雨の中、鈴木ガバナーと第2ブロックの会長・幹事で前鶴岡市長を表敬訪問いたしました。その前市長にも記念式典にご来賓いただいたことは大変感慨深いことでした。

さて、当クラブは、学校法人羽黒学園羽黒高校のインターアクトのスポンサークラブでもあり、学校の新校舎落成を記念し、この春、会員人数分の桜の苗木を校庭に植樹いたしました。卒業や入学の時期、永く桜花が春の息吹を校庭に運んでくれるものと思います。

当クラブのちょっぴり自慢は、友好クラブの盟約を結んで21年の江戸川中央RCと、文字通り友好の輪がしっかりと結ばれていることです。これも、諸先輩のご努力の賜物です。周年行事はもちろんのこと、当クラブの雪見酒例会には、毎年、多数のメンバーがお越しになり、奥様も含めて友好の絆を深めています。

また、フィリピンのレイテ島の農村に水牛1頭を贈る活動も5年になります。大型台風襲来、現地は壊滅的な被害を被ったこともありました。現地の大変な事情を知らされ、農作業のお役に立っていることを実感し、会員の誰もがやりがいを感じて



るところです。嬉しいことに昨年は、鶴岡南RC、酒田中央RCと一緒に活動を行うことができました。また、江戸川中央RCのメンバーに、先の大戦において、レイテ島で父を亡くした方がおられます。現地に行きそびれていたとのことでしたが、このプロジェクトと一緒に活動することになり、父上の亡くなったレイテ島の病院跡で手向けができた、たいそう喜んでいただくと伺いました。

我がクラブは、会員数が28名、年齢層は44歳~80歳(平均年齢65歳)です。他クラブ同様、新会員の加入が喫緊の課題です。退会防止と会員純増を心がけるとともに、会員同士の親睦を深めながら、ガバナーが掲げる地区目標を達成すべく、切磋琢磨して意義ある活動をしていきたいと思っております。

尾花沢中央RCを語る

来訪日：2017年9月22日(金)
幹事：奥田 孝之

我がクラブの自慢は、友愛と親睦の精神を重んじ、活動を続けていることです。その思いが具現化している活動があります。それは、月に一回の移動例会です。新春マーじゃん大会やパチンコ大会、ボーリング大会などを行ってから懇親会をするなど、毎回、趣向を凝らして参加率を上げています。もちろん、地元の飲食店を回って酒宴をあげているのですが、参加率は毎回90%以上です。お酒を飲まない人も数名いますが、必ず出席してくれます。義理と人情だけでは続かないでしょうから、やはり楽しいからだと思えます。

また、カラオケ部会なるものもあります。二次会のスナックで、みんなで歌を披露しています。ちなみに、カラオケの点数で一番低い人が部会長(現会長)になりました。さらにゴルフ部会もあり、月に一度は例会後にハーフでラウンドしたり、別の日にフルラウンドしたりなど、それ以外にも尾花沢中央ロータリー杯ゴルフコンペも催しています。

実は、無類の楽天ファンが新しく入会されました。年に何回も応援に行っていることから、近いうちに楽天応援部会が発足するものと思われます。

遊んでいるわけではありません。友愛と親睦の精神にのっとっての活動です。どうでしょう、皆さんも参加してみませんか？ 楽しいこと間違いなし、その後の酒も美味しいですよ。尾花沢中央RC、永遠にあれ！



村山RCを語る

来訪日：2017年10月3日(火)
幹事：氏井 隆夫

我がクラブは1959年創立で、今年で60年目を迎えます。会員は現在10名の少数精鋭ですが、例会出席率100%が自慢です。普段の例会が、さながら理事会のようなものです。

周年記念事業としては、これまで大旦川沿いに桜の植樹、駅前に時計台の設置などをしてきました。50周年記念事業では、東沢バラ公園に「バラの精」のブロンズ像を設置するとともに、グローバル補助金を活用して村山駅前に市内PR看板を設置いたしました。

また、年に数回の夫婦同伴例会や奥様だけの「奥様会」などもあり、家族を含めた親睦も大切にしています。

事務局の今さんは、てきぱきと仕事を処理くださって、例会にも常に笑顔で参加してくれます。クラブに潤いと明るさを与えてくれる大切な存在であり、会員一同、とても感謝しています。



天童東RC創立30周年記念植樹



天童東RCクラブ会報委員長
今田 治雄

今年度のイアン・ライズリーR I会長は、植樹事業を提案しています。天童東RCでは、11月1日に山本天童市長のご臨席のもと、東日本大震災後に福島県などから避難して天童市にお住まいの皆様にもご出席いただき、大震災復興祈念植樹、並びに天童東RC創立30周年記念植樹を行いました。



▲避難者の皆さん



天童市の中心「舞鶴山」に、麓の駐車場整備事業と合わせ、「ソメイヨシノ」3本を植樹しました。うち1本には、大震災復興祈念植樹としてプレートに「絆・希望の桜」と書きました。南相馬市から避難してきた方は、「桜のように少しずつ成長し、前に進んでいきたい。天童に来て良かった」と感謝しておりました。残り2本の桜については、今から24年前、この地に当クラブ例会300回記念として植樹した28本の桜の木（毎年みごとに咲き誇っております）の一部が駐車場整備のために伐採を余儀なくされたため、創立30周年記念事業として新たに植え直すことにしたものです。

この桜が大きな根をはり、見事な花を咲かせ、この舞鶴山が市民の憩いの場として、そして天童市の観光拠点として多くの方々から親しまれることを願って参りたいと思います。

やまぶきロード植樹プロジェクト



山形北RC会長
伊藤 三之

11月4日、やまぶきロード植樹プロジェクトを実施いたしました。山形北ロータリークラブは本年度50周年を迎えておりますが、このプロジェクトは50周年記念事業の一つとして3年越しで実施してきており、本年度でようやく完結しました。

山形市内の街中から蔵王温泉に向かう市道の両脇全長約2キロに渡って、やまぶきの苗木2,000本を3年間かけてメンバー全員で植樹しました。

当日は、当クラブメンバーの他に、地元子ども会の小中学生と保護者、大学生ボランティア、地元住民ボランティアの方々など、多くの市民を巻き込んでの作業となりました。

街中から蔵王温泉に向かうアクセス道路としては予想以上に交通量の多い道路でしたが、当クラブの新入会員数名に交通整理をしてもらいながら、安全第一で実施しました。

山形新聞社の記者が写真を撮り（後日、地元紙に大きく紹介されました）、当クラブメンバーの操縦するドローンが周囲を飛び回り、リアルな映像を記録してもらいながらの作業でした。イアンH.S.ライズリーR I会長の提唱する「メンバー1人1本の木を植えよう」のテーマに、見事に合致した事業を展開できました。来年4月15日の50周年記念式典では、充実した記念事業の紹介ができると思います。

なお、この事業は本年度の地区補助金を活用しております。第2800地区にも感謝いたします。



米沢上杉RC創立55周年記念式典報告



米沢上杉RC幹事
前山 健二

米沢盆地に雄大にそびえ立つ吾妻山脈の白馬の騎士が冠雪に覆われた2017年11月18日、米沢上杉RCの創立55周年記念式典を開催いたしました。ボーイスカウト米沢第1団の子供達によるロータリー旗、万国旗の入場で幕を開けた記念式典は、鈴木一作ガバナー、中川米沢市長、当クラブ特別名誉会員の上杉邦憲様(上杉家第17代当主)のご臨席を賜りました。また、スポンサークラブの米沢RCの皆様をはじめ、友好クラブの台湾台東東區RC、高田RC、高鍋RCの皆様、友好都市クラブの西尾RCの皆様など、総勢270名のご参加のもとで開催できましたことに、心より御礼と感謝を申し上げます。



思い起こせば昭和38年に米沢西RCとして創立し、その後も数々の先輩諸兄の熱い想いと奉仕の理念というバトンが脈々と引き継がれ、創立55周年の今日を迎えることができました。それだけに、「上杉の城下町 米沢」の上杉の冠をいただくRCとして、歴史に名を残した上杉軍団にひけをとらぬ「統率力」と「機動力」をもった記念式典の実現を目指したところです。おかげさまで、「55周年の思いをつないで未来(あした)へ」のスローガンを掲げた記念式典は、小泉雅行会長、前山郁朗実行委員長の旗のもと、成功裏に終了することができました。

また、創立50周年の際に市内の西條天満公園に記念植樹した「紅葉」の紅葉した葉による「55」の文字一、第2代沖縄県令として沖縄振興にご尽力された上杉家第13代当主上杉茂憲公の縁による「上杉エイサー」の雄大な演舞一、忙しい中で練習をかさねた会員有志による「島唄」ハンドベル演奏など、上杉と沖縄にスポットをあてた祝賀の催しに、皆様から「よかった、素晴らしかった」と言っていたが、会員一同、この上ない喜びでした。

今後ともロータリアンの皆様のご支援、ご指導を賜りながら、創立60周年、70周年、そして100周年に向けて、会員一同、邁進いたしたく存じます。最後になりましたが、この度の記念式典にご臨席を賜りました皆様方のご健勝と参加クラブのご繁栄をご祈念申し上げます。

青少年交換学生 月次報告



小林 由佳 さん

- 派遣国：ブラジル
- ホストRC：Opera de Arami
- スポンサーRC：山形西



こんにちは。先週はクリチバのロータリークラブで、大きなミーティングがありました。そこで留学生は、一人ずつポルトガル語で挨拶をし、ロータリーについての話を聞きました。また、去年山形に留学に来ていたパウロ君とも会いました。

11月1日、2回目のホストチェンジがありました。2番目の家族には約2ヵ月間お世話になり、たくさんのお助けをいただきました。新しい3番目の家族は、両親と大学生のお姉ちゃんの3人家族です。おしゃべりが大好きで、仲の良い家族です。お姉ちゃんは、3年前にロータリーの交換留学でデンマークへ行きました。ポルトガル語で会話する時は、ゆっくり話してくれます。最近では、お姉ちゃんの大学の食堂で一緒にお昼ご飯を食べたり、ショッピングに連れて行ってもらったりなど、本当のお姉ちゃんのように仲がいいです。

私は今月、高校とロータリーからのポルトガル語の学校を卒業しました。次に学校が始まるのは2月頃で、同じ高校の2年生の学年に戻って勉強することになっています。今まで約4か月間一緒だった友達と別れるのは悲しいです。最初は全然ポルトガル語が分からず、日本と違うことだらけで不安なことがたくさんありましたが、いつも私のことを笑わせ、心配してくれたのが学校の友達でした。新しいクラスになってからも、新しい友達をたくさん作りたいです。

11月26日から1泊2日のロータリーの旅行で、Canion に行ってきました。Canionはクリチバからバスで4時間です。1日目は川でボートを4時間漕いで、2日目は山の中を4時間歩きました。夜は、みんなでカードゲームをして遊びました。

最近ではブラジルの生活にも慣れてきて、バスで移動することも多くなりました。一人で出来るようになったことも増えてきましたが、周りの人達に支えてもらっていることもたくさんあります。これからも感謝の気持ちを忘れず、言葉にして相手に伝えられるようにしていきたいと思います。



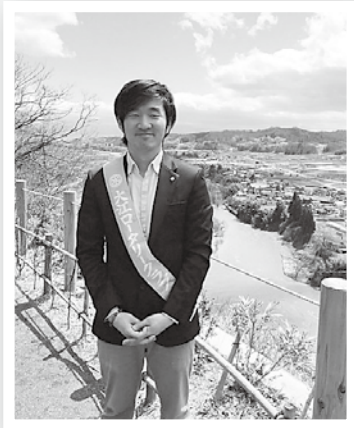
米山奨学生レター

vol.7

山形大学3年
イ・ゼヨン
李在勇 (韓国)



私は、大江RCでお世話になっている李在勇(イ・ゼヨン)です。実は、これまでの5年間の留



学生活で、「大江」という地名は初めて聞きましたし、行くのも初めてでした。大江に行くには少し遠いです。例会に行く時間の電車は1時間に1回で、しかも終点は左沢駅ではなく寒河江駅です。ですから、いつもカウンセラーの海野さんが寒河江駅まで迎えに来てくれます。例会では、誰もが非常に温かい心で色々な質問や話しをしてくれるので、行きやすいところでしたら、私は毎週、大江RCを訪問したいです。

大江RCの清掃例会にも参加しました。場所は、日本一公園の楯山公園です。きれいに曲がりくねった最上川と数多くの家々が見える素晴らしい公園です。その公園には、一番の絶景が見える場所に、大江クラブが寄贈した東屋があります。その東屋で昼食をとり、大江RCの皆さんと公園内のごみや道の落ち葉などを掃除しました。

ロータリーの皆さん、家族と一緒に大江町の日本一公園を訪問し、大江クラブが寄贈した東屋でお弁当を食べながら、きれいな景色を見るのはいかがでしょうか？



米山奨学委員レポート (3)

米山奨学・学友委員会 委員
矢口 信哉 (東根RC)

ロータリーに入会して28年です。ロータリー活動の根幹は出席と会員同士の友情を育み、親睦を深めることと認識し、参加してまいりました。地区には会員増強委員会とロータリー財団委員会への出向経験はありますが、こと米山奨学会については殆ど無知の会員でした。

米山奨学会事業は「平和日本を世界へ」一、まさに国際親善と世界平和に寄与する留学生を支援する日本最大の民間国際奨学事業であり、ロータリーの奉仕活動の中で、日本のロータリアンが作り育てた誇れる事業です。

聞けば750人の奨学生がいて、5年間での有資格留

学生の出身国は67カ国だそうです。近い将来、母国に帰ってリーダーになるであろう彼らには、勉学に励み、日本の今を体験し、日本との親善交流の懸け橋として活躍して欲しいものです。

東根RCは、16～17年度にモンゴルからの留学生アナル・ガリド君のサブ世話クラブとなりました。昨年2月には、特別寄付のお願いと米山奨学会への理解推進のための例会を開催いたしました。ガリド君のスピーチのおかげで、米山の事業への理解が一層深まり、多額の特別寄付金が集まりました。ガリド君は、当クラブが支援した光プロジェクトの新モンゴル高校出身者でしたので、村山産業高校の入学式や、東根の花見に参加してくれるなど、おおいに交流の輪を広げてくれました。

是非、クラブ例会に米山奨学生のスピーチをご活用ください。

ローターアクトのコーナー

酒田ローターアクトクラブ

(提唱クラブ：酒田スワン)

酒田ローターアクトクラブ(RAC)は、昨年度「sakata color ～はっしん!」のクラブターゲットのもと、夏には鶴岡RACと合同で夏季交流会のホストを務め、アクトOBによる保険についての勉強会、酒田米菓工場の見学、懇親会などを企画し、研鑽と交流に努めました。また、児童養護施設「思恩園」とは、夏祭りや海岸清掃などの事業を共同で実施しています。冬には、酒田スワンRCのクリスマス例会に参加させていただき、交流を深めました。さらに、1月には地域の除雪ボランティアにも参加しました。

今年度は、クラブターゲットを「ラ・RA・楽♪ Action! (ラララ アクション)」と掲げ、活動を行っております。楽しみながら、積極的にアクト活動をやっつけようという想いを込めました。

前年度は地区代表クラブとして地区運営を担い、クラブとしても地区としても、活動の充実には会員確保が必要であることを痛感しました。今後は、自分たちがアクト活動を楽しみながらアクトをPRし、新たな仲間を巻き込んでいけるように心がけていきたいと思っております。



インターアクトのコーナー

山形電波工業高等学校

(スポンサークラブ：天童)

本校インターアクトクラブ(IAC)は、毎年の奉仕活動として献血活動に取り組んでいます。1月と8月の年2回、献血バスに来ていただき、全校生・全職員が献血対象です。その際、事前の希望調査やポスターでの呼びかけ、当日の会場作りや人員整理のお手伝いなどを行っています。また、手伝いを行うIACメンバーも正しい献血の意義や知識を身につけるため、献血センターの方にお越しいただいて勉強会を行っています。



地域に根ざした活動としては、地元天童のラフランス・マラソン大会のスタッフボランティアとして、毎年多くのボランティアの方々と交流を図っています。また、障がい者スポーツ大会の補助員ボランティア、薬物乱用防止キャンペーンへの参加、地域清掃・校内緑化活動なども実施しています。

本校IACは昭和59年から30年以上の歴史あるクラブですが、次年度から新たな校名「創学館高等学校」に変わります。良き伝統を引き継ぎながら、積極的に新しい活動に取り組んでいきますので、今後ともよろしくご協力致します。

2017-2018 クラブ会員数／出席率

ブロック	クラブ名	2017.7.1		2017.11.30		出席率	年初からの増減数				累計出席率
		会員数 (女性会員数)		会員数 (女性会員数)			増 (女性会員数)	減 (女性会員数)			
第1ブロック	酒田	27	(3)	27	(3)	61.48	1	(0)	1	(0)	71.94
	酒田東	35	(5)	36	(5)	76.20	1	(0)	0	(0)	84.60
	酒田中央	37	(0)	37	(0)	83.21	0	(0)	0	(0)	82.22
	酒田スワン	15	(6)	15	(6)	80.36	0	(0)	0	(0)	83.21
	酒田湊	15	(3)	15	(3)	95.00	0	(0)	0	(0)	94.48
第2ブロック	鶴岡	28	(5)	29	(5)	84.26	1	(0)	0	(0)	84.83
	鶴岡西	33	(4)	32	(4)	68.18	1	(0)	2	(0)	78.00
	余目	29	(1)	31	(1)	90.00	2	(0)	0	(0)	75.42
	立川	14	(0)	12	(0)	87.50	0	(0)	2	(0)	90.23
	鶴岡東	28	(1)	28	(1)	77.78	0	(0)	0	(0)	84.91
鶴岡南	20	(3)	19	(3)	82.46	0	(0)	1	(0)	77.94	
第3ブロック	天童	45	(3)	46	(3)	93.83	1	(0)	0	(0)	94.89
	東根	34	(1)	34	(1)	77.21	0	(0)	0	(0)	81.68
	天童東	47	(0)	53	(0)	70.21	6	(0)	0	(0)	83.34
	天童西	18	(2)	20	(2)	80.00	2	(0)	0	(0)	85.75
	東根中央	45	(3)	46	(3)	86.90	1	(0)	0	(0)	80.81
	村山	10	(0)	10	(0)	100.00	0	(0)	0	(0)	99.00
	新庄	14	(2)	15	(2)	90.00	1	(0)	0	(0)	86.78
	尾花沢	19	(0)	19	(0)	84.21	1	(0)	1	(0)	88.16
	最上	22	(1)	24	(2)	65.95	2	(1)	0	(0)	51.79
	尾花沢中央	16	(1)	17	(1)	89.12	1	(0)	0	(0)	87.13
	村山ローズ	18	(5)	19	(5)	67.00	1	(0)	0	(0)	77.20
新庄あじさい	15	(0)	15	(0)	95.00	0	(0)	0	(0)	88.78	
第4ブロック	寒河江	52	(2)	51	(2)	96.00	2	(0)	3	(0)	92.25
	大江	16	(1)	17	(1)	98.21	1	(0)	0	(0)	99.64
	河北	29	(0)	29	(0)	86.31	0	(0)	0	(0)	83.40
	寒河江さくらんぼ	40	(3)	40	(3)	85.50	0	(0)	0	(0)	85.78
	西川月山	13	(0)	13	(0)	81.41	0	(0)	0	(0)	77.46
第5ブロック	山形	90	(2)	94	(2)	100.00	5	(0)	1	(0)	100.00
	山形北	58	(0)	64	(2)	94.61	8	(2)	2	(0)	94.80
	山辺	24	(0)	24	(0)	100.00	1	(0)	1	(0)	97.17
	山形南	53	(2)	53	(2)	95.60	0	(0)	0	(0)	95.91
	中山	12	(0)	12	(0)	66.67	0	(0)	0	(0)	75.83
	山形西	101	(0)	101	(0)	96.59	2	(0)	2	(0)	95.75
	上山	15	(3)	16	(3)	65.63	1	(0)	0	(0)	66.88
	山形東	32	(1)	30	(1)	90.16	0	(0)	2	(0)	90.42
	山形中央	40	(3)	40	(3)	93.94	0	(0)	0	(0)	95.28
	山形イブニング	30	(1)	30	(1)	60.19	0	(0)	0	(0)	65.80
第6ブロック	米沢	59	(8)	61	(8)	86.48	2	(0)	0	(0)	88.19
	米沢上杉	66	(3)	71	(4)	100.00	5	(1)	0	(0)	99.06
	高島	49	(3)	48	(3)	79.38	0	(0)	1	(0)	72.51
	米沢中央	38	(4)	39	(5)	98.29	1	(1)	0	(0)	98.42
	米沢おしょうしな	28	(3)	28	(3)	66.96	0	(0)	0	(0)	71.07
	長井	29	(1)	29	(1)	65.92	1	(0)	1	(0)	74.90
	南陽	12	(1)	13	(1)	88.40	1	(0)	0	(0)	84.23
	白鷹	20	(0)	20	(0)	81.67	0	(0)	0	(0)	83.94
	小国	17	(0)	17	(0)	83.58	0	(0)	0	(0)	82.81
	南陽東	33	(2)	36	(2)	68.91	3	(0)	0	(0)	72.25
	長井中央	18	(1)	20	(1)	83.16	2	(0)	0	(0)	78.89
	南陽臨雲	30	(3)	29	(2)	64.25	0	(0)	1	(1)	72.29
	合計	1588	(96)	1624	(100)	83.27	57	(5)	21	(1)	84.16

ガバナーの想い

この半年間、諸先輩から「地区の職業奉仕委員会に何年も在籍し、職業奉仕の申し子みたいな君が、ガバナーになったら職業奉仕の話をしなくなったな」と言われてきました。「R I会長方針や地区目標の説明・浸透など、ガバナーの責務として喫緊の優先事項から取り組んでいます」と答えてはきたものの、私自身、少なからず反省しているところです。それだけに、IMのテーマで職業奉仕を取り上げてくださったり、地区の職業奉仕委員会への例会卓話の依頼が多かったりなど、本当に感謝しております。私としても、地区大会と本号で職業奉仕の概論・総論をお話してきたので、少し安堵しています。

いずれにしても、ガバナーとしての未熟さを思い知る年度前半でした。それらの反省の上に立ちながら、年度後半はクラブ奉仕、職業奉仕、ロータリー情報について、もう少し力点を置いていこうと思います。

さて、私がガバナーを拝命して以来、お手本、目標としてきた方の一人に豊田義一パストガバナーがいらっしゃいます。

常にロータリーへの熱い想いを落ちついた静かな語り口で説いてくださり、そのロータリーの造詣の深さには何度となく感動しておりました。実は、その豊田パストガバナーから、最近どうも体調が芳しくない日が続く、本号の年頭挨拶は遠慮させて欲しいというご連絡をいただきました。早くお元気になられて、また我々に心温かいご指導をお願いいたしたく存じます。

最後になりましたが、私へ職業奉仕に強い関心を持たせてくれた恩人の一人に、九里茂三パストガバナーがいらっしゃいます。ロータリー入会後まもなく、あるセミナーで九里先生の講話を聞いて感激し、それ以来、私はロータリーの本を読むようになったのです。その九里茂三パストガバナーが、昨年12月2日にご逝去されました(享年96歳)。葬儀は近親者のみで行われましたが、3月18日(日)にお別れの会が開かれる予定です。詳細につきましては、クラブ宛てにお知らせいたします。ご冥福を心からお祈り申し上げます。合掌。

新入会員紹介



小川 真美

所属クラブ / 最上
職業分類 / 建設業
入会日 / 2017.10.10



廣谷 啓一

所属クラブ / 南陽
職業分類 / 総合建設業
入会日 / 2017.12.6

訃報



鏡 義光

2017年11月11日 ご逝去
享年66歳 (高島)

表彰関係



第1回米山功労者
増村 力
(米沢 RC)



第1回米山功労者
田中 隆一
(米沢 RC)



PHF+ 1
玉木 龍晃
(米沢 RC)



PHF+ 3
金内 晴一
(米沢中央 RC)



PHF+ 3
竹前 秀夫
(米沢上杉 RC)



PHF+ 2
戎谷 一夫
(米沢上杉 RC)



PHF+ 2
尾形 利昭
(米沢上杉 RC)



PHF+ 2
小泉 雅行
(米沢上杉 RC)



PHF+ 1
小関 利英
(米沢上杉 RC)



PHF+ 1
佐野 雅英
(米沢上杉 RC)



PHF+ 1
中山 裕一
(米沢上杉 RC)



PHF+ 1
前山 健二
(米沢上杉 RC)



PHF+ 2
小笠原 幸一
(南陽東 RC)



PHF+ 1
鈴木 俊明
(南陽東 RC)



PHF+ 1
鈴木 常雄
(南陽東 RC)

2018-2019年度ガバナーノミニー推薦について

国際ロータリー細則第14.020.4.により、2020-2021年度にガバナーへ就任する2018-2019年度ガバナーノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2018年2月28日までに地区ガバナー指名委員会宛(国際ロータリー第2800地区ガバナー事務所気付)に文書を以てご推薦ください。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出してください。なお、ガバナー指名委員会がその採択をするにあたっては、その採択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません(国際ロータリー細則第14.020.5)。

ガバナーノミニーの資格条件はクラブの元会長であることなど、詳しくは国際ロータリー細則第16.070.をご参照ください。ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナーノミニーになります。

1月の 地区スケジュール

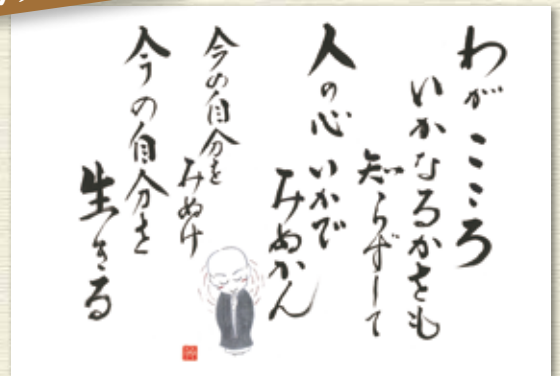
1/1 月	元日
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	成人の日
9 火	
10 水	
11 木	G公式訪問 (寒河江)
12 金	
13 土	
14 日	↑ 上林GE国際協議会 (サンディエゴ)
15 月	G公式訪問 (河北)
16 火	
17 水	
18 木	
19 金	
20 土	
21 日	↓ ↑ 青少年ウインターキャンプ (安比高原)
22 月	
23 火	G公式訪問 (寒河江さくらんぼ)
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	青少年交換オリエンテーション(寒河江市)
29 月	
30 火	G公式訪問 (大江)
31 水	
2/1 木	
2 金	
3 土	
4 日	米山50周年式典 (ブランドニッコー東京 台場)
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	建国記念の日
12 月	振替休日



雪山に遊ぶ 月山、湯殿山

日本有数の豪雪を誇る、月山山系に遊ぶバックカントリースキーヤー。風に叩かれず、雪の結晶のまま降り積もるふかふかの新雪は、年代を問わず多くの人を魅了する。ただし危険を伴う厳しい冬山。ガイドと十分な装備は必要です。

今月の言葉




◇ガバナー事務所

〒991-0041 寒河江市寒河江鷹ノ巣7番地
TEL: 0237-85-1882 FAX: 0237-85-1883
E-mail: ri2800suzuki@helen.ocn.ne.jp

◇地区事務所

〒994-0034 天童市本町2-1-31 天童セントラルホテル2F
TEL: 023-687-0208 FAX: 023-687-0209
E-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

◇ホームページ

国際ロータリー山形 検索 
<http://www.rid2800.jp>

